

【家庭用蓄電池 | 利用者アンケート調査レポート】

本レポートは、家庭用蓄電池の「初期費用の問題」に関する利用者アンケートを基に、多角的な視点で分析しまとめたものです。

以下はアンケート調査の結果とその概要です。

アンケート調査目的	初期費用に関する調査
アンケート対象者	家庭用蓄電池の利用者
アンケート方法	クラウドワークス
アンケート調査人数	30名
アンケート実施日	2026年1月9日
アンケート調査地域	日本

■ 回答者属性

- 性別

- ・女性: 50%
- ・男性: 50%

- 年代

- ・20代: 10%
- ・30代: 40%
- ・40代: 33%
- ・50代: 17%
- ・60代以上: 0%

- お住まいの地域

- ・愛知: 13%
- ・大阪: 13%
- ・東京: 10%
- ・福岡: 10%
- ・京都: 7%
- ・兵庫: 7%
- ・北海道: 3%
- ・宮城: 3%
- ・茨城: 3%
- ・群馬: 3%
- ・埼玉: 3%
- ・千葉: 3%
- ・神奈川: 3%
- ・富山: 3%
- ・岐阜: 3%

- ・滋賀:3%
- ・広島:3%
- ・長崎:3%

■ 初期費用に関する具体的な感想

※以下、回答全文

・蓄電池の導入にあたっては、正直なところ初期費用は決して安いとは感じませんでした。設置費用を含めるとまとまった金額が必要で、導入前はかなり悩みました。ただ、停電時の備えや電気代の上昇リスクを考えると、将来に向けた投資としては納得できる範囲だと感じています。短期的な回収というより、安心感や長期的なメリットを重視する人向けの設備だと思いました。

・当時は100万円ぐらいかかりました。投資と考えても、少し高いような気がします。

・初期費用は蓄電池本体と工事費を合わせて約120万円ほどかかりました。決して安い買い物ではありませんが、災害時の備えや電気代の高騰を考えると、将来的な投資としては妥当だと感じています。特に九州は台風が多く、停電リスクを考えると「保険料」としての価値も大きいと思いました。導入前は高いと感じましたが、実際に使い始めると安心感があり、費用に対する満足度は高いです。

・蓄電池の導入には初期費用として約120万円かかりました。正直、高額に感じましたが、停電対策や電気代削減を考えると将来的な投資として妥当だと思います。特に夜間電力を蓄えて昼間に使用することで、電気料金のピークカットにもつながるので、長期的には費用対効果が見込めます。導入前は高いと感じましたが、安心感と電気代節約を考えると納得の出費です。

・蓄電池の初期費用は本体価格＋工事費で100万円～200万円以上です。少し高いと思いました。

・費用としては180万円ほどです。将来の電気代節約のための投資ですが少し厳しいですね。

・初期投資は150万くらいかかりますので安くは無いですが節約に規定しています。

・太陽光と同時に家庭用蓄電池を導入し、総額で約250万円ほどかかりました。正直、導入時はかなり高額だと感じましたが、補助金を活用できたことと、将来的な電気代高騰や災害対策を考えると「投資」としては納得しています。

・かなり高い値段だと思いました。普通に200万円くらいしたので、将来的な投資とはいえ、かなり出したなあという感じです。

・値段は高いと思いました。将来の投資としては、恐らくペイはできないと思っているので、そこにはあまり期待はしていません。

・本体や設置などで150万ほどかかり、高いとは思いましたが、将来の投資としてや、いざという時のことを考えれば元は取れなくないかなと感じました。

・初期費用が90万円くらいで、長い目で考えたとしても設置して良かったのかは何とも言えません。

・蓄電池の導入には想像以上に初期費用がかかりましたが、将来の電気代高騰や災害時の備えを考えると、長期的な投資としては納得できる金額だと感じました。補助金を活用できたこともあり、心理的な負担は軽減されました。

・初期費用は約150万円でしたが、将来の電気代高騰に対する「エネルギーの自給自足権」を買う投資と考えれば、妥当な金額だと判断しています。単純な売電収益での元取りは難しいですが、災害時のバックアップ電源という保険機能を含めれば、決して高くはありません。

・設置費用を含めて約160万円ほどかかりました。決して安い買い物ではありませんでしたが、今後15年程度の稼働を想定すれば、災害時のバックアップ機能も含めた長期的な投資として妥当な金額だったと考えています。

・太陽光とセットで家庭用蓄電池を導入し、工事費込みで約150万円かかりました。一括払いだったため負担は大きかったですが、売電単価が下がる時期だったので自家消費を増やした方が良いと判断しました。

・蓄電池の初期費用は正直かなり高く感じました。主婦の立場からすると、家計にとっては大きな出費なので迷いましたが、災害時の備えや電気代の高騰を考えると、将来への投資と思って思い切りました。

・初期費用は130万円ほどかかりました。これは大体相場の範囲内と言われました。私的には高くもなく安くもないという印象でした。

・合計で約180万円かかりました。家計にとっては大きな買い物でしたが、将来的に電気代が上がっていくことを考えると、今のうちに備えておくのは妥当な判断だったと納得しています。

・蓄電池の導入には正直、かなりの初期費用がかかりました。我が家では太陽光発電とセットで設置したため、トータルで見れば大きな出費でしたが、災害時の備えや電気代の削減を考えると、将来的には十分に元が取れる投資だと感じています。

・正直、導入時の初期費用は決して安くはなく、まとまった出費だと感じました。防災面への投資と考えると納得できました。

・蓄電池の導入では、本体と設置工事の合計で約250万円程度かかりました。設備自体の価格が高く、初期費用は正直高いと感じましたが、電気料金の変動や停電時の備えを考えると将来への投資だと納得して購入しました。

・ハウスメーカーの太陽光発電とセットのキャンペーンがあり、太陽光パネルとセットで+200万円ほどでしたが、結果的には安く導入できたと思います。

・本体価格や工事費用、付帯設備の費用が思っていたより高かったですが、夜間の安い電力を充電し、電気代の高い昼間に使うことで節約につながっています。10年くらいで初期費用の元が取れそうです。

■ 総括

多くの回答者が、蓄電池の初期費用を「高額」と感じつつも、停電対策や電気代高騰への備えとして、将来を見据えた投資と捉えていることが分かりました。

短期的な費用回収よりも、安心感や自家消費による長期的なメリットを重視する傾向が強く、補助金の活用が導入判断を後押ししている点も特徴です。

制作：ハピネスマガジン